

本機のお手入れ、ディスク/著作権について

故障？と思ったら

本機のお手入れ

本機が汚れたら

乾いた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お手入れのお願い

ベンジン、シンナー類を使わないでください。ケースや塗装が変質します。

ディスクについて

⚠ 注意

特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない



ハート型や八角形など特殊形状のディスクや、プロテクトフィルムやスタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ってください。



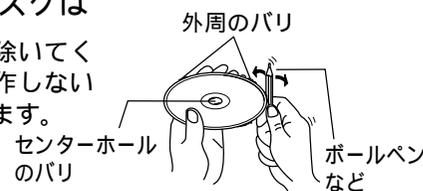
汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



新しいディスクは

バリを取り除いてください。動作しないことがあります。



著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

故障と思われる前に

以下の表に従って確認・処置してください。

万一、異常を感じたら

すぐに電源を切ってください。電源接続をはずして、煙が出ていないこと・熱くないことを確認してから、修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠ 注意

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変なおいがする等の異常な状態で使用すると、発火・感電の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

共通

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」にしてください。	—
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	62~65
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを常時通電している端子に接続してください。	62
	アクセサリ電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリ電源コードを車のACC電源に接続してください。	62
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを車体の金属部に接続してください。	62
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」(別紙参照)にヒューズの交換をご依頼ください。	裏表紙
音が出ない。	ミュートが「ON」になっている。	「OFF」にしてください。	54
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	62~65
	ナビミュートコードが正しく接続されていない。(MUTINGの文字が表示されている)	ナビミュートコードを正しく接続してください。	62
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	—
ボタン操作ができない。	ディスプレイ表示がデモモードになっている。	デモモード以外の表示に切り替えてから操作してください。	21
	ミュートが「ON」になっている。	「OFF」にしてください。	54
時計が調整できない。	電源が入っていない。	[POWER]を押して、電源を入れてから調整してください。	21

必要なときに

故障？と思ったら

リモコン

症状	原因	処置	参照ページ
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性(⊕⊖)が逆になっている。	電池を正しく入れてください。	9
	電池の種類が正しくない。	電池をご確認ください。	9
	電池が消耗している。	電池を交換してください。	9
	リモコンの方向が正しくない。	本体のREMOTE(リモコン受光部)に向けて操作してください。	10

パネル

症状	原因	処置	参照ページ
パネルの角度を調整できない。	角度を変えない設定になっている。	チルト設定を“ON”にしてください。	50

ラジオ

症状	原因	処置	参照ページ
FMステレオ放送、モノラル放送ともノイズが多い。	放送局が遠かったり、放送電波が弱い。	電波の強い他の放送局を選んでください。	24
プリセットしたはずの放送局が解除されている。	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電している端子に接続してください。	62

DVD/ビデオCD/CD

症状	原因	処置	参照ページ
音がとぶ。音質が悪い。	ディスクが汚れている。	「ディスク/著作権について」をご参照のうえ、ディスクのクリーニングをしてください。	56
振動により音をとぶ。	取り付け角度が30°を超えている。	取り付け角度を30°以内にしてください。	66
	取り付けかたが不安定。	「取り付けかた」を参考にして、本機と取り付け金具などをしっかり固定してください。	66
ディスクが出てこない。	ディスクの不良。	パネルを開けて  を押してください。動作しないときは、リセットスイッチを押してください。	26 60 裏表紙
	メカの不良。	それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理をご依頼ください。	

DVD/ビデオCD/CD(つづき)

症状	原因	処置	参照ページ
再生しない、または再生してもすぐに中断する。	結露している。	1~2時間程放置して本機を乾かしてからご使用ください。	—
	DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CD以外のディスクは再生できません。	ディスクをご確認ください。	2
	ディスクが汚れている。	「ディスク/著作権について」をご参照のうえ、ディスクのクリーニングをしてください。	56
	ディスクが裏返し。	ラベル面を上にしてディスクを入れてください。	26
テレビに画像が映らない。	正しく接続されていない。	接続をご確認ください。 テレビ側の設定をご確認ください。	62 —
	初期設定の「テレビの接続設定」が“NONE”になっている。	“YES”にしてください。	36
	車が走行中。	停車し、サイドブレーキを引いてください。	27
DVD再生中、小さな音が聴き取りにくい。	ダイナミックレンジコンプレッションを“DR COMP ON”に設定してください。		52
ボタン操作ができない。	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。		27
ビデオCDのメニュー再生ができない。	プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生ができません。		—
早送り/早戻し中に画像が乱れる。	多少乱れることがありますが、故障ではありません。		—
字幕が出ない。	字幕の記録されていないディスクは字幕が出ません。 (詳しくは、ディスクの説明をご参照ください)		—
音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない。	複数の音声/字幕/アングルが記録されていないディスクは、切り替えられません。	メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。(詳しくは、ディスクの説明をご参照ください) 特定の場面のみアングルが切り替えられる場合もあります。	31~33
初期設定で選んだ音声/字幕言語にならない。	ディスクにその言語の音声や字幕が記録されていないときは、設定した言語に切り替わりません。	メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。(詳しくは、ディスクの説明をご参照ください)	31
接続したテレビのサイズが、4:3(16:9)にならない。	初期設定の「テレビのアスペクト比」の設定がちがう。	ご使用のテレビに合わせて、「テレビのアスペクト比」を正しく設定してください。	36
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない。	初期設定の「メニュー言語」でちがう言語が設定されている。	初期設定の「メニュー言語」の設定をご確認ください。	34

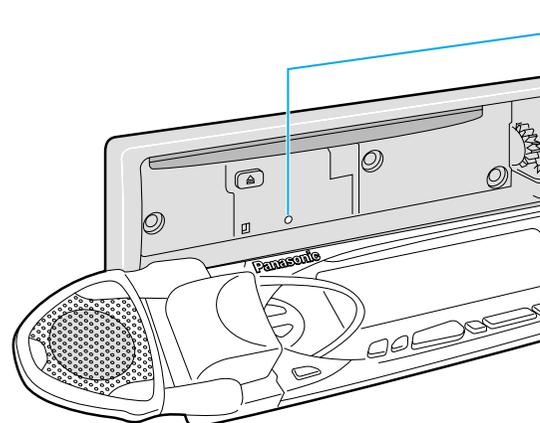
必要なときに

故障？と思ったら

サウンド設定

症状	原因	処置	参照ページ
スピーカーから音が出ない。	左右前後のバランス調整が片方に寄っている。	「BAL/FAD」を適切に調整してください。	44
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	62～65
	スピーカー設定が「NO」や「NONE」になっている。	スピーカー設定を正しく行ってください。	16
センタースピーカーから音が出ない。	センタースピーカーが閉じている。	センタースピーカーを開いてください。	21
	出力レベル/音量が下がっている。	出力レベル/音量を上げてください。	18/46
	別売センタースピーカーの設定が「SMALL」または「LARGE」になっている。	別売センタースピーカーの設定を「NONE」にしてください。	16
	2チャンネルの音源を再生している。	サラウンドの設定を「PROLOGIC ON」にしてください。	42
	「DOWN MIX ON」になっている。	スピーカー出力の設定を「DOWN MIX OFF」にしてください。	42
	F/Rモードになっている。	F/Rモードを解除してください。	55
ステレオのとき、左右の音が逆になる。	スピーカーコードの接続が逆になっている。	スピーカーコードを正しく接続してください。	62～64
DR COMPがはたらかない。 (操作しても「DR COMP」が点灯しない。)	再生ソースがドルビーデジタルではない。	ドルビーデジタル方式のソフトだけに有効な機能です。	52

正常に動作しない場合は



リセットスイッチ

この穴に折れない細い棒などを入れて、スイッチを押す。
異常回復後、初期の状態に戻ります。
記憶した内容や設定が解除されますのでご注意ください。

お願い

どのボタンを押しても動作しない場合に押しってください。
パネルが開かない場合や正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理をご依頼ください。

こんな表示が出たら

DVD / ビデオCD / CD

表示例	原因	動作	確認・処置
E1 PLS EJECT E2 PLS EJECT	ディスクが汚れている、裏返しになっている。ディスクにキズがついている、不正な箇所がある。再生できるメディアでない。	—	▲を押して、ディスクを確認してください。
E3 PLS EJECT PLS VER UP	何らかの原因で動作しない。	—	▲を押してディスクを取り出してください。▲を押しても動作しない場合は、リセットスイッチを押してください。それでも動作しない場合は修理をご依頼ください。(裏表紙)
PAL/NTSC ERR	PAL方式のディスクを再生した。	—	▲を押して、ディスクを確認してください。
REGION ERR	リージョン番号が「2」または「ALL」以外のディスクを再生した。	—	▲を押して、ディスクを確認してください。

チェンジャー

表示例	原因	動作	確認・処置
CD・CH -E1- MD・CH -E1- CD・CH -E2- MD・CH -E2-	ディスクが汚れている、裏返しになっている。挿入したMDがデータ用または録音されていない。ディスクにキズがついている。	自動的に、次のディスクに替わります。	ディスクを確認してください。
CD・CH -E3- MD・CH -E3-	何らかの原因で動作しない。	—	チェンジャーの▲を押してください。動作しないときは、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。それでも動作しない場合は、修理をご依頼ください。(裏表紙)
NO DISC	チェンジャー(マガジン)にディスクが1枚も入っていない。	—	チェンジャー(マガジン)にディスクを入れてください。

お知らせ

E1、E2の前に、エラーとなっているディスク番号が表示されることがあります。チェンジャーによって内容表示や対応操作が一部異なります。詳しくは、ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

配線のしかた

配線については、接続する各機器の取扱説明書をよくお読みください。
スピーカーは各種とりそろえておりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けある車では、バッテリー端子をはずすと、これらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

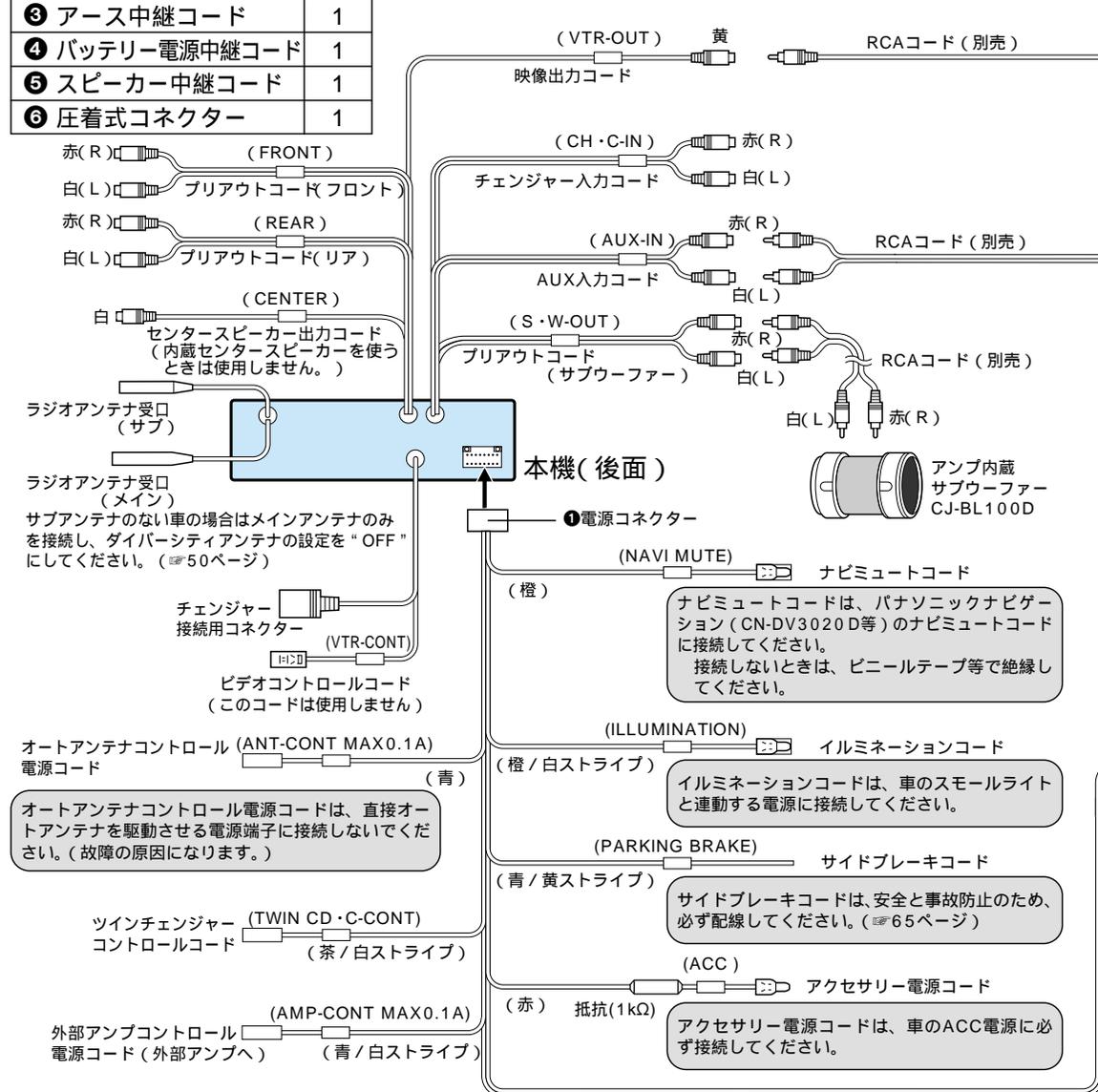
基本配線

配線に使用する付属品

品名	数量
① 電源コネクター	1
② パワーアンプユニット	1
③ アース中継コード	1
④ バッテリー電源中継コード	1
⑤ スピーカー中継コード	1
⑥ 圧着式コネクター	1

組み合わせ例

7.0型ワイドインダッシュTV (CY-TV707WD)
アンプ内蔵サブウーファー (CJ-BL100D)



⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に依頼する



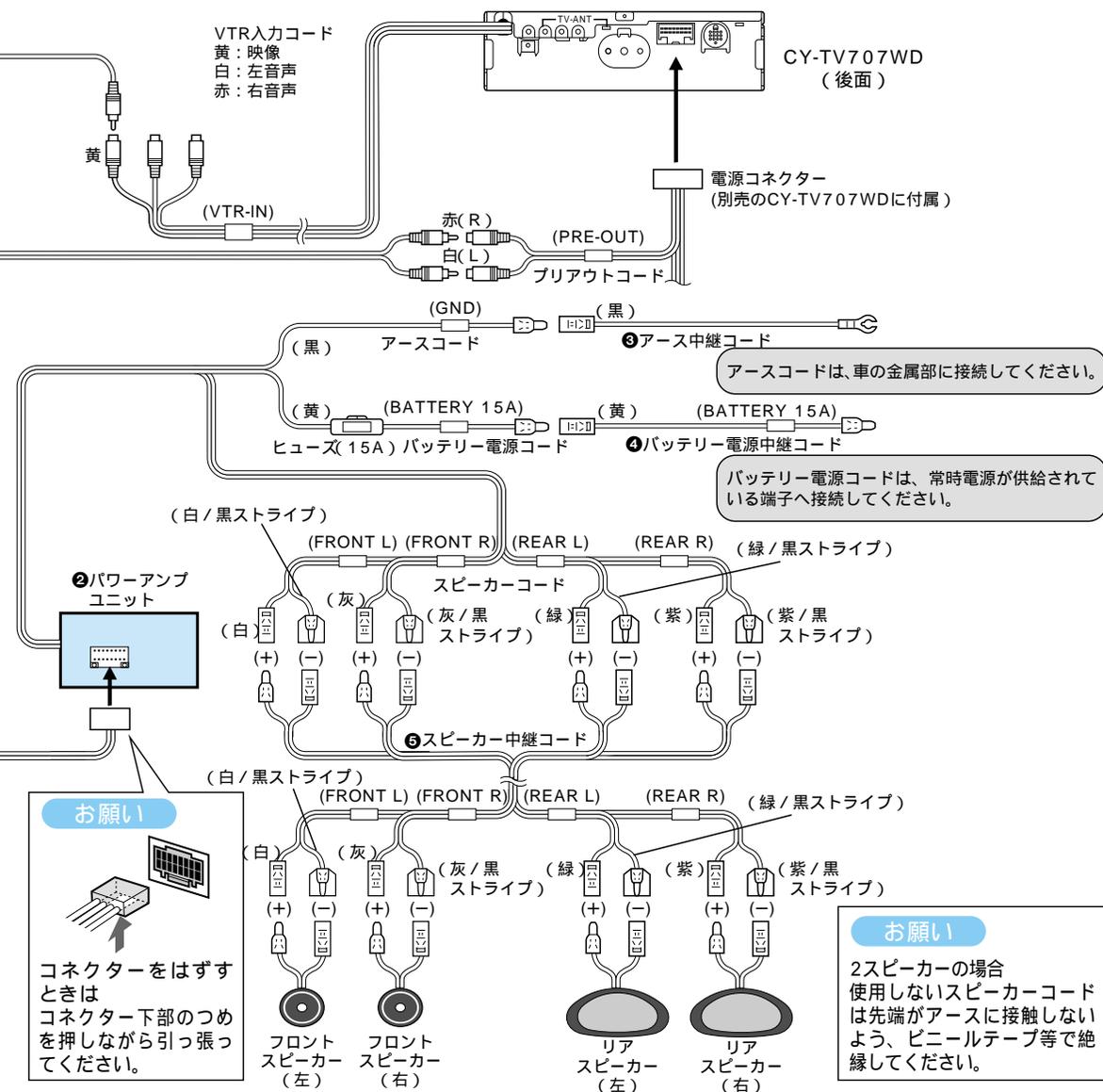
本機の取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造、コードの被覆を切って、他の電源を取るのはやめてください。発煙・発火、感電、故障の原因になります。



必要ときに

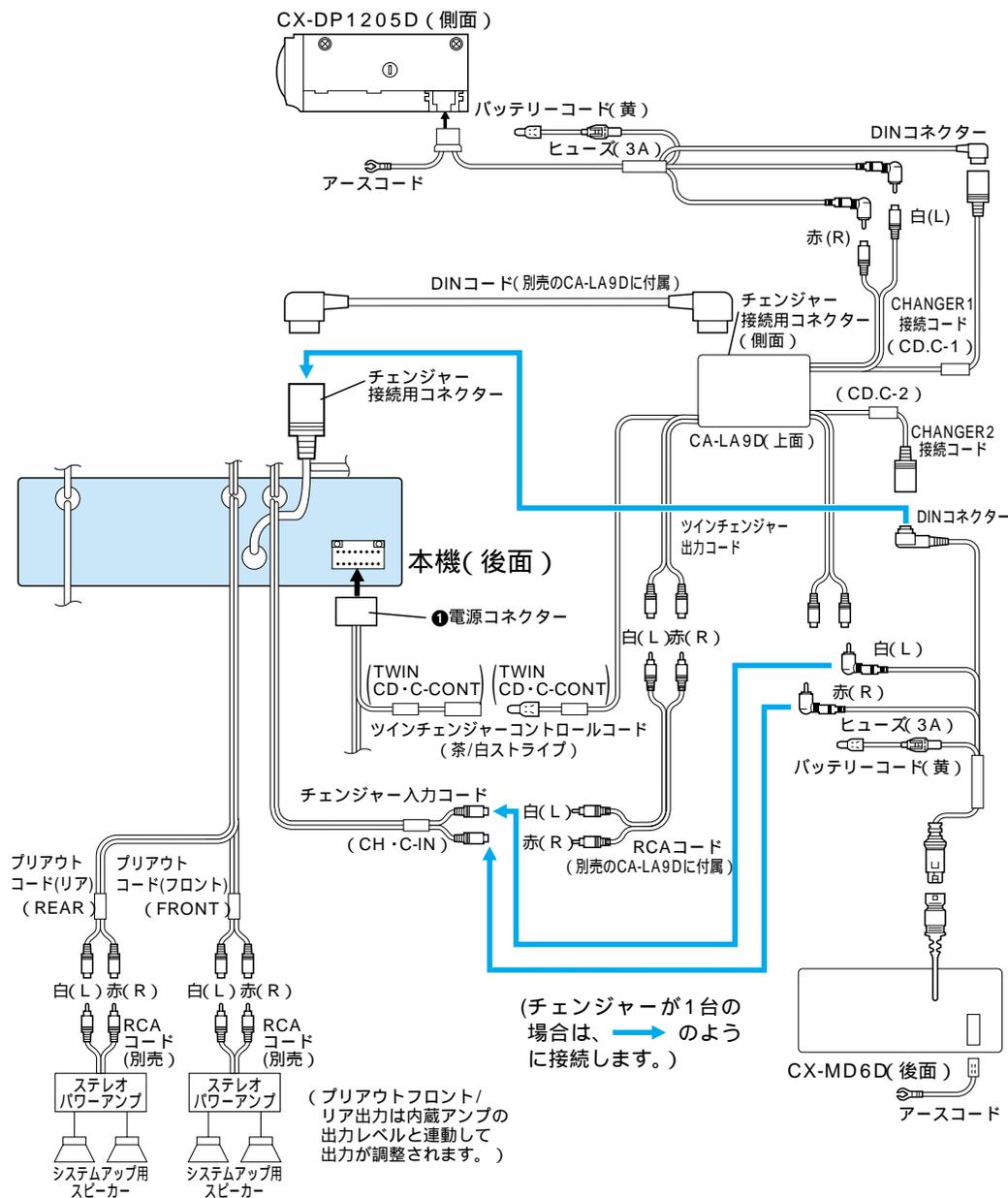
配線のしかた

システムアップ

ツインチェンジャー
システムアップ用スピーカー（フロント/リア）

組み合わせ例

CDチェンジャー (CX-DP1205D) MDチェンジャー (CX-MD6D)
ステレオパワーアンプ
システムアップ用スピーカー



サイドブレーキコード

お願い

サイドブレーキに対する配線は安全と事故防止のため必ず行ってください。

お知らせ

サイドブレーキスイッチの位置は車によって異なります。(下図はその一例)詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

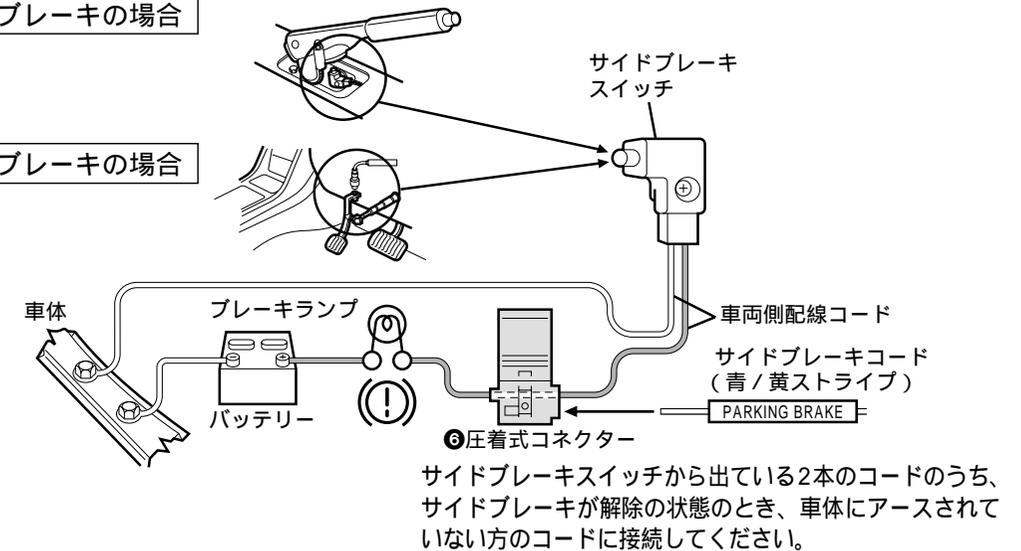
取り付け・配線は専門技術者に依頼する



本機の取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ハンドブレーキの場合

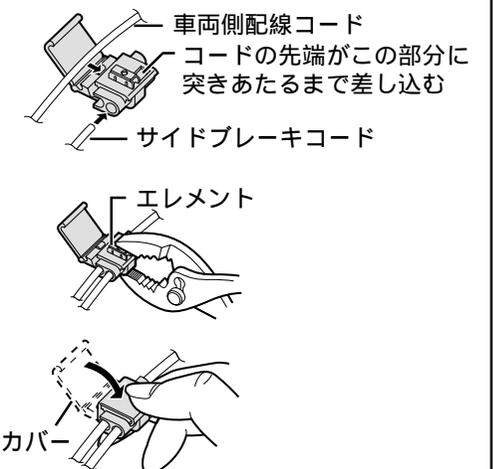
フットブレーキの場合



⑥ 圧着式コネクタの接続方法

車両側配線コードの適当な位置に取り付けてください。接続するコードが細い場合(0.3 mm²以下)には接触が不十分になりますのでご注意ください。

- 1 サイドブレーキコードの先端を圧着式コネクタの穴に差し込む。車両側配線コードを圧着式コネクタのみぞに通す。
- 2 コードが圧着式コネクタから抜けかないよう注意しながらペンチ等でエレメントを押し込む。
- 3 カバーをパチンと音がするまで完全にかぶせる。



必要なときに

取り付けかた

⚠ 注意

取り付け・配線は専門技術者に
依頼する



本機の実取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

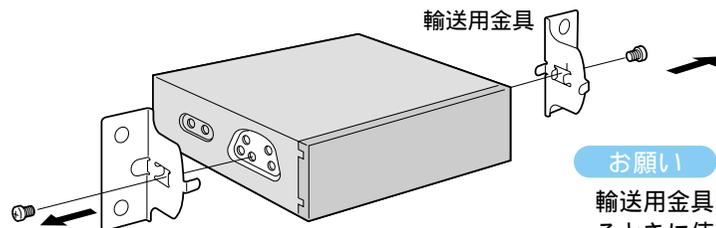
取り付けに使用する付属品

ご使用前に、よくお確かめください。

番号	品名	数量
⑦	パインドねじ (M5×6 mm)	4
⑧	皿ねじ (M5×6 mm)	4
⑨	スペーサー	2
⑩	両面テープ	2
⑪	マジックテープ	1
⑫	座金付きパインドねじ (M5×12 mm)	1

取り付け前に

必ず輸送用金具をはずしてください。



お願い

輸送用金具はパワーアンプユニットを取り付けるときに使用することもあります。紛失しないようご注意ください。(P.68ページ)

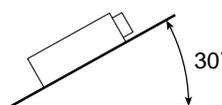
取り付けのお願い

本機は、上段に取り付けてください。ただし、インダッシュモニターと組み合わせる場合は、下段に取り付けてください。

取り付ける位置によっては、本機のパネルやスピーカーがシフトレバー等にあたる場合があります。販売店にご相談ください。

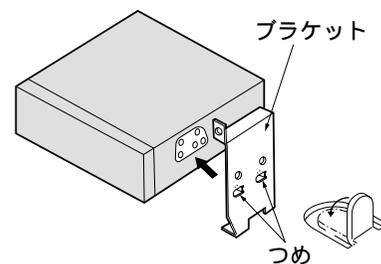
本機の実取り付けねじの長さは6 mmです必ず、付属ねじ⑦または⑧をご使用ください。

性能を十分に発揮するために、水平に対して30°以内の角度で取り付けてください。



車両で使用されているブラケットをご使用ください。

ブラケットに「つめ」がある場合には、ラジオペンチ等で折り曲げて、平らにしてください。

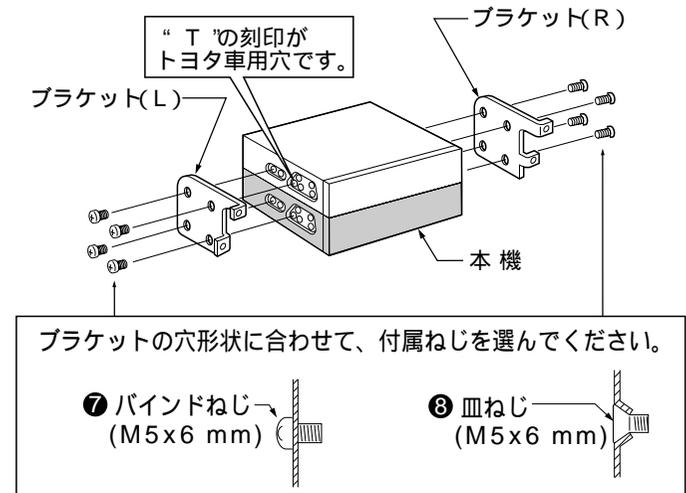


トヨタ車 (DINサイズ採用車)

- 1 車両のカーラジオ、小物入れ、それらを止めているブラケットをはずす。
- 2 付属ねじ⑦または⑧で、本機にブラケットを取り付ける。
- 3 本機を車両に取り付ける。

お知らせ

DINサイズ採用車とはオーディオスペースに通称セット幅180 mm、高さ50 mmサイズが搭載できる車です。年式、車種、グレードにより専用キット(別売)が必要な場合があります。販売店にご相談ください。



日産・本田・三菱車 (DINサイズ採用車)

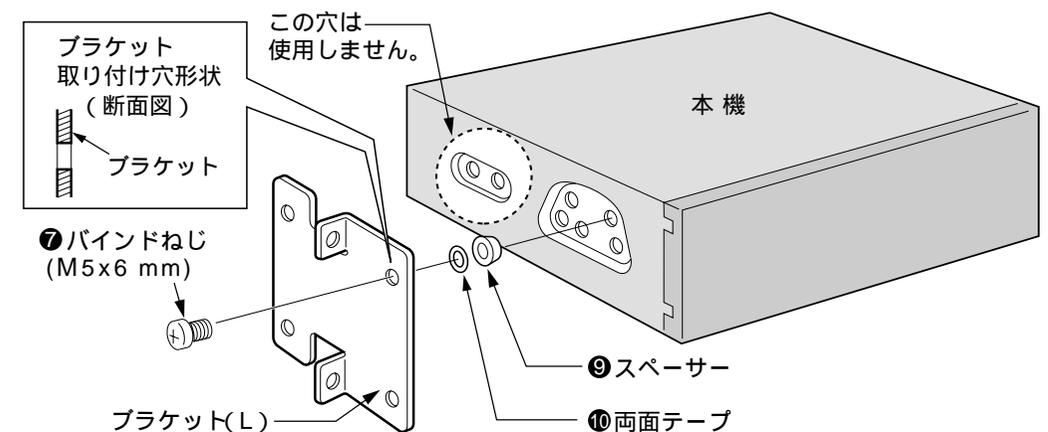
メーカー別の標準取り付けキット(別売)が準備されていますので、販売店にご相談ください。年式、車種、グレードにより専用キット(別売)が必要な場合があります。販売店にご相談ください。

その他の車 (DINサイズ採用車)

汎用または車種別に専用キット(別売)が準備されていますので、販売店にご相談ください。

スペーサーについて

車両のブラケット取り付け穴形状が下図のような場合には、スペーサーをご使用ください。



取り付けかた

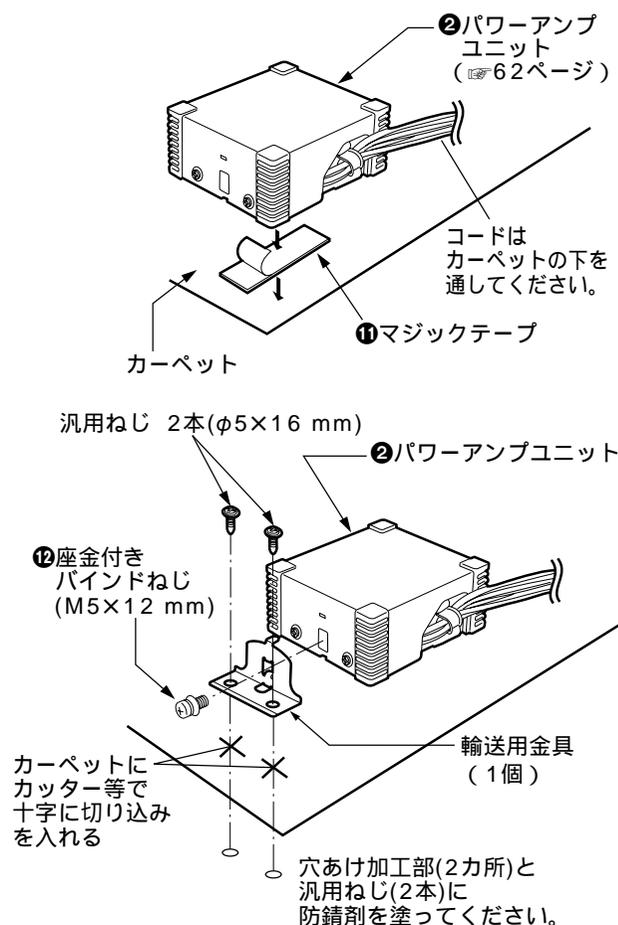
パワーアンプユニットについて

マジックテープを使って、助手席のシート下などに取り付けてください。

パワーアンプユニットの底面に貼り付け、カーペットの上に取り付けます。

お知らせ

カーペットの種類によっては、マジックテープで取り付けられないことがあります。



輸送用金具を使うときは

- 1 付属ねじ⑫で、輸送用金具をパワーアンプユニットに取り付ける。
- 2 輸送用金具の穴に合わせて、車体に3.5 mmの穴をあける。(2カ所)
- 3 汎用ねじ(2本)で、パワーアンプユニットを車両に取り付ける。

お願い

本機を連続して使用すると、パワーアンプユニットが熱くなります。動作中には手などを触れないようご注意ください。また、上に物などを置かないようにしてください。

ヒーターの吹き出し口の近く、およびダッシュボードやリヤートレイの上のように直射日光のあたる場所など、高温により故障するおそれがある場所には取り付けないでください。

ドアの近くなど、雨水がかかりやすい場所や足で踏まれる場所には取り付けないでください。

マジックテープ貼付面の油・水・ほこりなどを、必ず取り除いてください。

車体に穴をあけるときは、下にあるパイプ類や配線などをご確認ください。

シートをスライドさせたときに、コードがはさまれない場所に取り付けてください。

用語解説

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を、左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、右サラウンド、サブウーファー(0.1チャンネル)の5.1チャンネルに分解して記録・再生します。大量の音声データを効率良くディスクに納めることができるので、ステレオやモノラルといった音声でも、複数言語の収録などのために採用されています。

dts (Digital Theater System)

ドルビーデジタルを上回るデータ量で、より高品質のサラウンド再生ができる方式です。ドルビーデジタルと同様に、音楽信号を左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、右サラウンド、サブウーファー(0.1チャンネル)の5.1チャンネルに分解して記録・再生する完全ディスクリット(分割)方式です。

ドルビーサラウンド

左フロント、右フロント、センター、モノラルサラウンドの4チャンネル信号を2チャンネルで記録し、それを、ドルビープロロジックデコーダーで解析して再度4チャンネルに出力する方式です。サラウンドチャンネルの出力はモノラルです。

リニアPCM音声(LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDビデオでは、44.1 kHz/16 bit~96 kHz/24 bit、DVDオーディオでは、44.1 kHz/16 bit~192 kHz/24 bitで記録されているので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

サンプリング周波数、量子化ビット数

アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する(サンプリング)という方法が取られています。1秒間に区切る回数を表したのがサンプリング周波数で、そのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。これらの数字が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

タイトル、チャプター(DVDビデオ) グループ、トラック(DVDオーディオ)

DVDは、いくつかの大きな区切り(タイトル、グループ)と小さな区切り(チャプター、トラック)に分けられています。番号が付いているので、指定して好きなところから再生できます。

例) DVDビデオでは

タイトル 1		タイトル 2	
チャプター 1	チャプター 2	...	チャプター 1

例) DVDオーディオでは

グループ 1		グループ 2	
トラック 1	トラック 2	...	トラック 1

トラック(ビデオCD、音楽CD)

ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り(トラック)に分けられて、それぞれ番号が付けられています。

例)

トラック 1	トラック 2	トラック 3	トラック 4
--------	--------	--------	--------

パン&スキャン画面

通常サイズ(4:3)のテレビでワイド版の映像を再生したとき、左右の切れた状態で表示される画面のことをいいます。

レターボックス画面

通常サイズ(4:3)のテレビでワイド版の映像を再生したとき、上下に黒い帯が入った状態で表示される画面のことをいいます。

プレイバックコントロール(ビデオCD)

パッケージに「プレイバックコントロール対応」などの表記があるものは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。

必要なときに

言語番号表

操作のしかたは、35ページを参照してください。

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アフアル	7365	インターリングア	8285	ロシア
6566	アプハジア	7378	インドネシア	8365	サンスクリット
6570	アフリカーンス	7383	アイスランド	8368	シンド
6577	アムハラ	7384	イタリア	8372	セルボクロアチア
6582	アラビア	7387	ヘブライ	8373	シンハラ
6583	アッサム	7465	日本語	8375	スロバキア
6588	アイマラ	7473	イディッシュ	8376	スロベニア
6590	アゼルバイジャン	7487	ジャワ	8377	サモア
6665	バシキール	7565	グルジア	8378	ショナ
6669	ベロルシア(白ロシア)	7575	カザフ	8379	ソマリ
6671	ブルガリア	7576	グリーンランド	8381	アルバニア
6672	ビハール	7577	カンボジア	8382	セルビア
6678	ベンガル(バングラ)	7578	カナダ	8385	スンダ
6679	チベット	7579	韓国(朝鮮)語	8386	スウェーデン
6682	ブルターニュ	7583	カシミール	8387	スワヒリ
6765	カタロニア	7585	クルド	8465	タミル
6779	コルシカ	7589	キルギス	8469	テルグ
6783	チェコ	7665	ラテン	8471	タジク
6789	ウェールズ	7678	リンガラ	8472	タイ
6865	デンマーク	7679	ラオ	8473	ティグリニア
6869	ドイツ	7684	リトアニア	8475	トルクメン
6890	ブータン	7686	ラトビア(レット)	8476	タガログ
6976	ギリシャ	7771	マダガスカル	8479	トンガ
6978	英語	7773	マオリ	8482	トルコ
6979	エスペラント	7775	マケドニア	8484	タタール
6983	スペイン	7776	マラヤーラム	8487	トウイ
6984	エストニア	7778	モンゴル	8575	ウクライナ
6985	バスク	7779	モルダビア	8582	ウルドゥー
7065	ペルシャ	7782	マラッタ	8590	ウズベク
7073	フィンランド	7783	マライ(マレー)	8673	ベトナム
7074	フィジー	7784	マルタ	8679	ヴォラピュック
7079	フェロー	7789	ビルマ	8779	ウォロフ
7082	フランス	7865	ナウル	8872	コーサ
7089	フリジア	7869	ネパール	8979	ヨルバ
7165	アイルランド	7876	オランダ	9072	中国語
7168	(スコットランド)ゲール	7879	ノルウェー	9085	ズールー
7176	ガリチア	7982	オーリヤ		
7178	グアラニー	8065	パンジャブ		
7185	グジャラト	8076	ポーランド		
7265	ハウサ	8083	パシュト		
7273	ヒンディー	8084	ポルトガル		
7282	クロアチア	8185	ケチュア		
7285	ハンガリー	8277	レトロマンズ		
7289	アルメニア	8279	ルーマニア		

仕様

共通

電源電圧	: DC12 V ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 8.5 A以下 (ディスク動作定格出力時)
定格出力	: 18 W×4 ch (1 kHz, 1%, 4)
最大出力	: 45 W×4 ch+5 W
適合スピーカー	インピーダンス : 4
音声入力	インピーダンス : 10 k
音声入力感度	: 700 mV (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 4 Vrms
プリアウト出力	インピーダンス : 60
外形寸法(本体)	: 178×50×155 (mm) (パワーアンプ ユニット) : 84×37×83 (mm) (幅×高さ×奥行き)
質量(本体)	: 2 kg (パワーアンプ ユニット) : 0.35 kg

チューナー(ラジオ)部

FMチューナー部	受信周波数範囲 : 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
FMチューナー部	実用感度 : 11 dBf
FMチューナー部	全高調波ひずみ率 (モノ) : 0.3% (1 kHz)
FMチューナー部	聴感補正SN比 (モノ) : 60 dB
FMチューナー部	周波数特性 : 20 Hz~15 Hz±3 dB
FMチューナー部	分離度 : 35 dB (1 kHz)
FMチューナー部	実効選択度 : 75 dB

本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「PRO LOGIC」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992 - 1997年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。本機は、米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。「DTS」および「DTSデジタルサラウンド」はDTS社の登録商標です。著作権 1996年 DTS社。不許複製。NAVIIは、登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オーディオ部

周波数特性	(LARGE選択時) : 2 Hz~88 kHz (192 kHz サンプリング周波数 DVDオーディオのみ) 2 Hz~44 kHz (96 kHz サンプリング周波数 DVD オーディオ/ビデオのみ) 2 Hz~22 kHz (48 kHz サンプリング周波数 DVD オーディオ/ビデオのみ) 2 Hz~20 kHz (CD、EIAJ)
ディレイ時間	ドルビーデジタル ・センター : 0 ms~4 ms ・サラウンドL/R : 0 ms~15 ms ドルビープロロジック ・サラウンドL/R : 0 ms~15 ms
ひずみ率	フロント L/R (1 kHz, 0 dB, PCM入力) : 0.01 %
ダイナミックレンジ	: 100 dB以上 (EIAJ)
S/N比	: 100 dB以上 (EIAJ) (DVDオーディオ時)

AMチューナー部	受信周波数範囲 : 522 KHz ~ 1 629 KHz
AMチューナー部	実用感度 (S/N 20 dB) : 28 dB/μV
AMチューナー部	イメージ妨害比 : 65 dB

映像部

信号形式	: NTSC日米標準信号方式
映像出力	: 75、1 Vp-p

必要なときに

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

修理を依頼される時

「故障かな!？」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談室」へ

お客様相談室

 **0120-50-8729**
フリーダイヤル（料金無料）
受付 9：00～17：00
（土・日・祝祭日・弊社休日を除く）

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-DVR909D
販売店名	☎ ()	—	
お客様 ご相談窓口	☎ ()	—	

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 カーシステム事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283467 F0600-0